

ICER NEWS LETTER

Innovation Center for Educational Resource



No. 58

中央図書館 VR ツアーコンテンツのご紹介

教材開発センターは、データ駆動イノベーション推進本部・次世代型オープンエデュケーション推進部門と連携し、XR (VR/AR/MR) を活用した電子教材の開発や支援を行っております。また、「九州大学「教育 DX」推進事業～先端 ICT 活用による学びの質の向上～」(文部科学省公募事業「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」の採択)で昨年度導入しました 360 度 VR カメラやレーザースキャナーなどの機材を活用したデータ収集とデジタル教材の開発を進めております。

これらの機材を活用して、実空間にある種々の物や事象をデジタルデータとして収集保存し、教育・研究で活用することにより、イノベーション創出が推進されと考えられます。

本号では、360 度 VR カメラとレーザースキャナーを利用して収集したデジタルデータとそれを活用したコンテンツ開発の

取り組みをご紹介します。コロナ禍で多くの大学でオープンキャンパスもオンライン開催となっております。VR を活用したオープンキャンパス向けコンテンツを公開している大学も増えております。九州大学でもデジタルデータを活用した情報発信を積極的に行うべく、教材開発センターが中心となり、中央図書館スタッフと学生の協力を得て中央図書館を紹介するバーチャルツアーコンテンツの開発を行いました。

5 月中旬に開発会議と準備、6 月中旬の 2 週間で、学生の協力を得て 360 度 VR カメラの動画 (合計 4 本: 各フロア 1 本)、静止画 (合計 430 地点: 1 階 60 地点、2 階 79 地点、3 階 130 地点、4 階 161 地点)、レーザースキャナーの 3 次元点群 (1 階から 4 階まで合計 190 地点) の撮影とデータ収集を行いました。6 月下旬からプログラム実装を行いました。すでに、中央図書館 VR ツアー動画版が公開されております。静止画版および 3 次元点群版は順次公開の予定です。是非、中央図書館 VR ツアーをご体験ください。

【岡田義広センター長】



<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/libraries/central/VR>



JMOOC 「化石化のメカニズムを探る」受講生募集中

教材開発センターでは MOOC (Massive Open Online Course) 講座第 9 弾として、「化石化のメカニズムを探る」を JMOOC (<https://www.jmooc.jp/>) から開講します。開講日は 8 月 19 日 (金) を予定しています。現在受講生募集中

です。本講座の講師は、総合研究博物館の前田晴良教授です。

本講座を通して「化石」に対するより豊かなイメージを受講生に抱いてもらえるはずです。

【岡田義広センター長】



連載

2

「次世代ICT活用インタラクティブ電子教材開発システム」のご紹介 360度VRカメラ

■ 360度VRカメラで、病院地区のアイソトープセンターを撮影しました

データ駆動イノベーション推進本部・次世代型オープンエデュケーション推進部門と連携した、ICT活用電子教材開発の一環として、7月20日にInsta360Proを使って病院地区アイソトープセンターの施設内(1棟1F～5F、2棟1F、学生実習棟1F～3F)を撮影しました。午前中に、撮影場所のポイントを決定し、午後、ポイント66か所の撮影をしました。

最終的には、図書館VRツアーの静止画版のように、フロアごとに施設内を歩いて回ることができるようになります。実験室では、放射性物質の遮蔽デモをされた様子を撮影していますので、実験の様子を動画で見られるようになる予定です。

今後、アイソトープセンターの先生がご自身で、360度動画を撮影する予定で、これらの機材を現在

貸し出ししております。こちらも最終的には、図書館VRツアーの動画版のような形で公開される予定です。教材開発センターでは、教材開発のためのデータ収集や機材貸し出し時の機材使用法講習も実施しております。これらのご要望がございましたら本センターまでご連絡下さい。

【テクニカルスタッフ】

お問い合わせ video@icer.kyushu-u.ac.jp

(内線)90-6107



お知らせ 本センターで保有している先端ICT機材をご存知ですか？

教材開発センターでは、2013年度に「2D/3D電子教材開発システム」、2021年度に「次世代ICT活用インタラクティブ電子教材開発システム」をそれぞれ導入しております。これらの機材の貸し出しを行っておりますので、ご要望がございましたら本センターまでご連絡下さい。

【岡田義広センター長】

■ 2D/3D電子教材開発システム

デジタル顕微鏡、光学式モーションキャプチャー装置、固定式3Dスキャナー、3Dプリンター、ハイスピードカメラ、視線追尾装置

■ 次世代ICT活用インタラクティブ電子教材開発システム

周囲撮影用3Dスキャナー、高解像度360度VRカメラ、ポータブル360度VRカメラ、対象物撮影用3Dスキャナー、VRゴーグル

▶ https://www.icer.kyushu-u.ac.jp/lectcast_use_apply

今後機材貸し出しページも内容を更新してまいります。



f <https://www.facebook.com/KyushuUniversityICER>

t https://twitter.com/ICER_KyushuUniv

g <https://www.icer.kyushu-u.ac.jp>

e info@icer.kyushu-u.ac.jp

バックナンバーを公開しています
<https://www.icer.kyushu-u.ac.jp/pr>



ICER Innovation Center for Educational Resource
K Y U S H U U N I V E R S I T Y

編集・発行：九州大学附属図書館付設教材開発センター
Copyright (C) Innovation Center for Educational Resources All rights reserved.